



連続セミナー

発達に気がかりのある子どもに関する 親のためのゼミナール

発達障害やグレーゾーンなど、子どもの発達支援に関してさまざまな情報が飛び交いますが、その分、情報の選び方にも工夫が求められるようになりました。実際は、子どもの発達も環境も一人ひとり異なります。それらをどのように見つめ、関わるのか。本セミナーではそのヒントを探るとともに、成人期における自立や就労も視野に入れ、親御さんが見通しを持ってお子さんに関わる一助になることを目指します。

会場	日時	テーマ
第1回 7号館 1階 7114 教室	2019年 10月20日(日) 10:00~12:00	幼児期・学齢期における将来を見据えた関わり方 講師：河合高鋭先生(鶴見短期大学保育学科) 発達に気になるお子さんをどう理解すればよいのか、どう関わればよいのか、日々悩みながら奮闘されている保護者の方や支援者の方に向け、河合先生には、横浜市療育センターにて子どもと家族の支援に従事され、大学に移られてからも保育園への巡回相談などに精力的に取り組まれているご経験を踏まえ、発達に気になる幼児期～学齢期の子どもへの、将来を見据えた関わり方についてお話いただきます。
第2回 7号館 1階 7114 教室	2019年 11月17日(日) 10:00~12:00	学齢期・思春期における特性理解と二次障害予防 講師：小関俊祐先生(桜美林大学心理・教育学系) 学齢期・思春期になると集団で過ごす時間が長くなり、社会との繋がりがよりクローズアップされます。特性を背景として集団適応に困難さが生じたり、精神疾患を併発する心配も高まる時期です。小関先生は、そうした課題の予防や対処を含め、認知行動療法に基づいた臨床実践や研究をされておられます。先駆的な取り組みをされている小関先生より、学齢期・思春期に求められる関わり方についてお話いただきます。
第3回 7号館 1階 7114 教室	2020年 1月26日(日) 10:00~12:00	成人期における自立・就労をどのように考えるか ～第1回・第2回を踏まえて～ 講師：小川浩(大妻女子大学共生社会文化研究所) 千田若菜(ながやまメンタルクリニック) 第1回・第2回の振り返りをもとに、高校卒業後の進路選択の支援について整理します。高等教育在学中の関わりや、職業生活移行の支援のあり方、更には就職後の課題や支援も見据えながら、自立や就労のあり方について考えていきたいと思います。



会場：大妻女子大学多摩キャンパス(小田急唐木田駅から徒歩15分)
参加費無料 定員100名

申し込み方法：共生社会文化研究所ホームページ専用サイトから

<http://www.iisc.otsuma.ac.jp/>

- ・ 連続セミナーですが、1回のみ申し込みも可能です。
- ・ 各回定員に達し次第、締め切らせていただきます。

お問い合わせ：IISC@ml.otsuma.ac.jp

